

荒川の現状と課題（補足説明）

平成27年3月27日

国土交通省 関東地方整備局

河川空間の利用状況

■荒川(笹目橋から上流の荒川上流河川事務所管理区間)における、高水敷の国有地以外の面積は、国有地を上回っている。利用の内訳は下表のとおり。

単位: ha

区分	運動場等	農耕地等	宅地	その他	合計
国有地	830	398	0	976	2,204
国有地以外 (民有地、市町村等)	330	2,400	11	640	3,381

河川管理統計報告様式(平成26年4月30日時点)より作成

※区分について

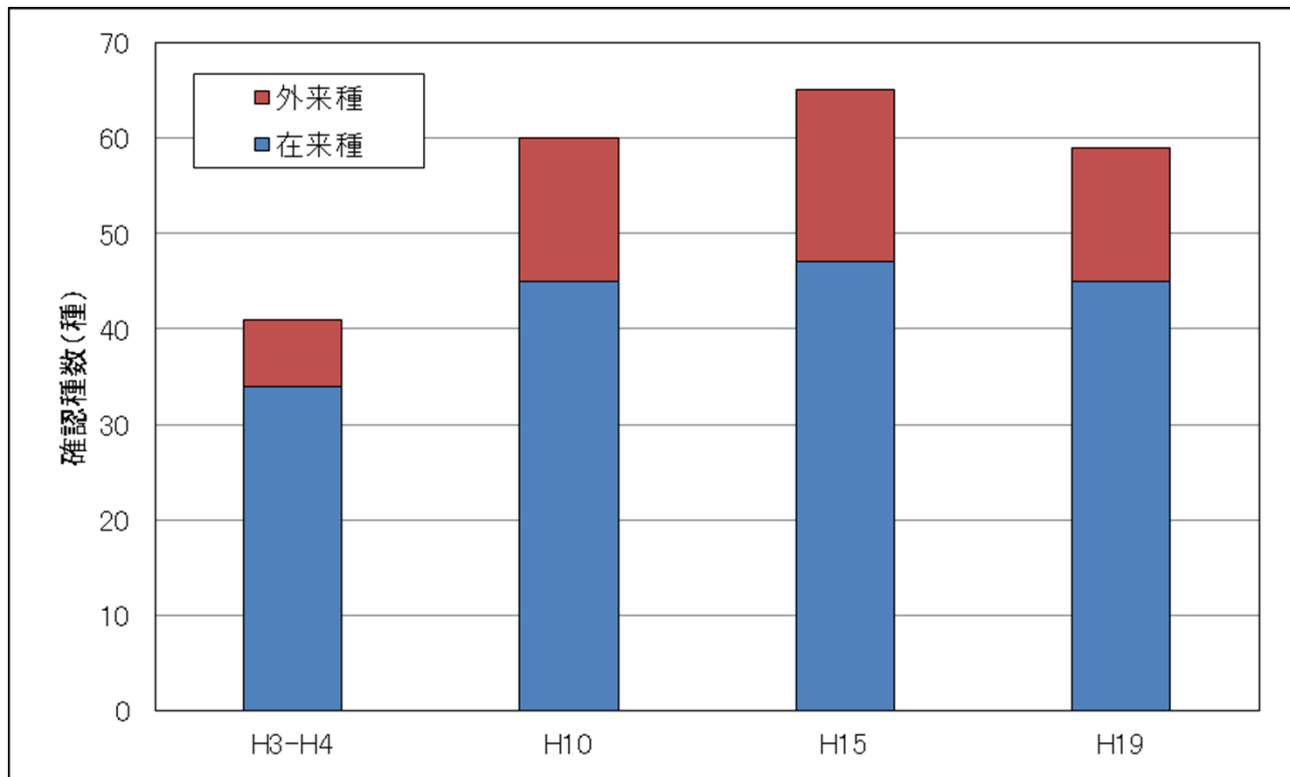
- 1 「運動場等」の欄には、公園緑地、ゴルフ場、自動車練習場、駐車場を含む。
- 2 「農耕地等」の欄には、採草地を含む。
- 3 「その他」の欄には、森林、竹林等を含む。



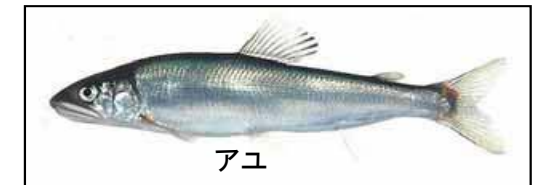
魚類について

■荒川における「河川水辺の国勢調査」の魚類調査は平成3年度から実施しており、これまでに4回の調査を実施している。

荒川全体における魚類の確認種数の変遷



河川水辺の国勢調査より



支川名の由来

と き 都幾川

- 長さ
27.6km
- 流域面積
161.87km²
- 比企郡ときがわ町を源流として、東松山市、川島町、坂戸市の境のあたりで越辺川と合流します。

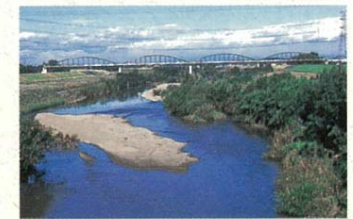


名前の由来

川の水が神社のお清めに使われたので、清めるという意味の斎（トキ）という言葉が由来とされています。

お っ べ 越辺川

- 長さ
16.88km
- 流域面積
419.95km²
- 入間郡越生町を起点として、川島町で入間川と合流します。



名前の由来

越辺のあたりを流れる川だからという説と、豊かな川という意味のアイヌ語、オッペからついたという説があります。

こ ま 高麗川

- 長さ
32.425km
- 流域面積
94.79km²
- 飯能市からはじまり、坂戸市で越辺川と合流します。



名前の由来

716年に高麗人が日本に到来し高麗郡ができたことからこの名前がつけられたと言われています。

い る ま 入間川

- 長さ
51.273km
- 流域面積
735.34km²
- 飯能市からはじまり、川越市で荒川と合流します。



名前の由来

台地や丘陵地の谷間に入りこんだ地という意味の言葉、イリマ（入間）からつけられました。

支川の改修経緯

■支川の整備については、平成11年8月洪水の浸水被害を受け、入間川・越辺川等緊急対策特定事業を実施し、平成24年度に概成した。

平成11年8月洪水による浸水被害状況



H11. 8洪水 床上浸水戸数622戸※、床下浸水戸数1,741戸※

H15年度 入間川・越辺川等緊急対策特定事業の着手

【主な対策】

入間川築堤 10,700m

越辺川築堤 1,600m

樋門改築 1箇所

水門2箇所

H24年度 入間川・越辺川等緊急対策特定事業の概成

※荒川流域全体の被害（水害統計より）

